

# 健全育成指導資料第28集

## セーフティ教室指導事例集

### ○ セーフティ教室の目的

非行防止または犯罪被害防止を目的に平成16年度から、都内小・中学校、都立学校で実施している。

### ○ セーフティ教室で身に付けてほしい力

善悪の正しい判断、社会生活上のルール、危険を予想し、回避する力

### ○ セーフティ教室の構成

第一部 児童・生徒が、非行防止・犯罪被害防止の学習活動を行なう。

(例) 規範意識の醸成、犯罪に対する正しい知識、危険予測能力や危険回避能力の育成、薬物乱用防止等、自らの健康を保持増進する態度の育成

第二部 学校関係者や保護者、地域、警察等の関係機関の方々と共に、犯罪から子どもを守る取組みについて、意見交換会を実施する。

### ○ 指導事例集の中で取り上げている活動方法の説明

#### 【ブレインストーミング】

- ・あるテーマについてアイデアや意見をできるだけ幅広く出すためのグループワーク
- ・留意点 出された意見に対し、批判やコメントをしないで自由に意見を出す。  
質より量を重視し、他人のアイデアを活用してグループ間で競う。  
時間は1～2分程度と短く設定する。

#### 【ロールプレイ】

- ・将来遭遇する可能性の高い状況を取り上げ、そこで効果的な対処法を考える。  
実際に練習する・演ずる・振り返ること等により対処方法について考えを深める。
- ・留意点 たばこを勧めるなど好ましくない役は、子どもには演じさせない。  
本物を小道具として使用せず、対処できなくなるほどに追い込まない。  
進め役は、あまり巧みな演技をせず、演技指導にならないようにする。  
学習者が当事者意識をもち、活動を振り返って対処の難しさを実感する。

#### 【ケーススタディ】

- ・日常生活で起りそうな場面で登場人物の気持ち、考え、行動などを予想して、対処法について自由な発想で話し合い、考察する。
- ・留意点 学習者に自由な発想と一定の時間を保証し、思考を促す問いかけをする。  
物語の登場人物について考え、自分のこととして考えない。  
特定の価値観を押し付けず、授業のまとめで結論を位置付けない。  
学習者が自分なりに思考し、他の人の考えを参考にして深める。

## セーフティ教室（中学校）指導事例 「喫煙、飲酒、薬物乱用防止」

### ○目標（ねらい）

- ・薬物乱用が心身に及ぼす影響について確認する。
- ・薬物乱用に対する犯罪意識の高揚と規範意識の育成。
- ・薬物乱用の誘惑に対して断る強い意志と断り方を学ぶ。

### ○指導内容（薬物乱用防止）

時	活動内容		指導上の留意点				
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薬物乱用が心身に及ぼす影響を確認する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用の心身に与える影響を考える</li> <li>・薬物の恐怖を考える</li> </ul> </li> <li>○ケーススタディ（事例による学習）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の事例内容を聞き対処の仕方を考える</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○薬物の怖さや心身に与える影響を発表させる。自分の持っている情報を総合し発表させる。</li> <li>○教員が読む事例を聞きシートに対処の仕方をまとめる。</li> </ul>				
20	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">事例 1</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">事例 2</th> </tr> </table>	事例 1	事例 2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">○警察、ライオンズクラブ等の講話</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">○ビデオ又はスライドの活用</td> </tr> </table>	○警察、ライオンズクラブ等の講話	○ビデオ又はスライドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薬物乱用は犯罪という意識を持たせる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機回避能力 「自分が回避しなければならないことに気付かせる」</li> <li>・誘惑に負けない強い意志 「毅然とした態度のあり方をしらせる」</li> <li>・断り方を学ばせる 「方法を身に付けさせる」</li> </ul> </li> </ul>
事例 1	事例 2						
○警察、ライオンズクラブ等の講話	○ビデオ又はスライドの活用						
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合わせる。</li> <li>○シートに自分で対処の仕方をまとめる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者からの意見を参考に自分の意見をまとめる。</li> </ul>				
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ内で完成させたシートを交換し見せ合う。</li> <li>○質疑</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の学習成果と対処の仕方の工夫に気づかせる。</li> </ul>				

### <参考資料・協力先>

- ・薬物乱用防止VTR など
- ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引き（中学校編）
- ・財団法人 日本学校保健会ホームページ 薬物乱用防止教室NO!Drug (<http://www.hokenkai.or.jp/>)
- ・社団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (<http://www.dapc.or.jp/>)
- ・所轄警察署生活安全課（スクールサポーター）・少年補導センター・ライオンズクラブ

### ○ケーススタディ演習シート \*【】内をケーススタディに合わせて変更してください。

夏休み初日、部活動も休みなので、AさんはBさんと一緒にCさんの家で遊ぶことになった。家の人は留守で夕方まで帰ってこない。しばらくゲームなどで遊んでいるとBさんが【たばこ】を取り出した。  
Bさんは、Cさんに『やってみない』と【たばこ】を差し出した。Cさんは、少しためらったが、Bさんの誘いもあって【たばこ】に【火をつけた。】  
そして、次はAさんに・・・。

Bさん：試してごらんよ。  
 Aさん：  
 Bさん：何でやらないの。  
 Aさん：  
 Bさん：少しぐらい【タバコ吸つたって】、体に影響ないよ。  
 Cさん：そうだよ。友だちでしょ。一緒に【吸おうよ。】  
 Aさん：  
 Bさん：いらいらしているときなんて、スッキリするよ。  
 Aさん：  
 Bさん：悪いとわかっているから、おもしろいんだよ。【吸って】ごらんよ。  
 Aさん：

《感想》